

地球温暖化による影響

新潟小学校 六年三組 後藤 実咲

「えっ？新潟がミカンの産地になるの？」

これはある新聞記事を見て、とっさに出てきた言葉。

ミカンといえば暖かい地域の特産物という気がしますし、実際の収穫量は和歌山県がトップ。次いで愛媛、熊本となっています。中でも和歌山のブランド有田みかんは、とても美味しく、私も大好きです。それがどうして、

この美味しいお米の産地の代表とも言える新潟と、どう関係しているのでしょうか。令和元年八月十二日付の新潟日報に、こんな記事がありました。

地球温暖化に歯止めがかからず気温上昇が続いた場合、二十一世紀末には新潟県の平均気温が五度上がり、農作物の生育に深刻な影響が出るとの予測を県が発表した。

というものの。記事によると早ければ六十年後に県内沿岸部のほぼ全域でミカン栽培ができ

るような気候になり、コメの品質は著しく低下する恐れがあるのだとか。どうやらお米自体が全く収穫できなくなるという事ではななく、一等米といわれる美味しいお米が今より少なくなってしまうという事らしいのです。これは一大事ではありませんか。だって新潟からイメーヅすることって、何と言っても「美味しいお米」です。必ずと言っていい程、新潟のお米は美味しい。と、まるで合言葉のように言ってもらえるのです。

これは私達県民の誇りであり、自慢です。以前田植えを体験させていたただいた時、農家の方々の大変なご苦労と愛情によって新潟の美味しいお米になると学びました。そして、ここにアラス産地の気候などが、より美味しくしてくれるのだと思います。そこから考えるとして、今のようにならぬように一等米がたくさん収穫できるようにするのは、とても恵まれた環境という事になるのだでしょう。この状態を維持して行くためにめには、どうしたら良いのでしょうか。

もちろん県では品種改良などの対策を進めて  
いて、このまま気温が上昇しても、今と変わ  
らぬ美味しいお米が、たくさん穫れるように  
なるかもしれません。ですが、今のままでは  
大きく変わってしまう可能性が高いというこ  
こから、目を逸けてしまっていないのでし  
ょうか。私達の自慢である「日本一美味しい新潟  
のお米」を「米処新潟」を守る為になんかできる  
のか。原因となる地球温暖化を防ぐべく、自  
分達にできることをコツコツと積み重ね、努  
力して行かなければと、心に誓いました。お  
米だって小さな一粒が集まって大きな力にな  
るので、小さな積み重ねが、功を奏す  
かもしれません。一度でも上昇を防げたら。  
そう言えば佐渡では、ミカンも少し収穫で  
きるし、お米も美味しい。そうならればいい  
のですが。詳しく知りたくなりました。  
ミカンもいいけど、ずつとずつと受け継が  
れてきた新潟の良なお米が、私達の誇りと自  
慢であり続けますように願っています。